

平成27年度 第1回座間市総合戦略推進懇話会 会議録

日 時 平成27年8月18日（火）10時30分～11時45分

場 所 ハーモニーホール座間（座間市民文化会館） 中会議室

出席者 市長（委員長）、企画財政部長（副委員長）、伊賀上委員、伊田委員、稲垣委員、井上委員、鍛冶委員、川崎委員、川島委員、京免委員、黒田委員、黒部委員、鈴木委員、高橋委員、滝委員、長本委員、星野委員、堀川委員、村山委員

事務局 小林企画財政部次長、山本企画政策課長、安藤係長、山本主事、古場主事、小西主事

傍聴者 2名

公開可否 公開 一部公開 非公開

議題

- ・座間市総合戦略（案）について
- ・座間市人口ビジョン（案）について
- ・年間スケジュールについて
- ・質疑応答

資料

- ・資料1 座間市総合戦略推進懇話会委員一覧
- ・資料2 座間市総合戦略（骨子案）
- ・資料3 座間市人口ビジョン（案）
- ・資料4 平成27年度座間市総合戦略推進懇話会開催スケジュール（案）
- ・参考資料 座間市総合戦略推進懇話会設置要綱
- ・参考資料 分析事例（観光編、産業編、人口編）

《 開 会 》

( 委員長 )

議題について確認したい。事務局から説明をする。今後の議論のベースとしたい。進め方について説明し、まとめて質疑応答としたい。

《 事務局から資料の説明 》

( 委員長 )

案について説明をしたが、今後の議論に向けて質問があれば承りたい。

( 委員 )

客観的にみてもデータが整っていると思うが、これからどうしていくかということについては総合戦略で示されるという理解で良いか。

国の方で基本的なことについて聞きたい。東京圏はどこを指すのか。座間市はどうか。地域的な定義を聞きたい。

財源及び新型交付金について、国の方で評価して分けるのか、それとも事業ごとにまとめるのか。

施策については、座間市だけで済む話なのか。県央地域で考えると、人口を取り合うのではなく、連携していく部分は当然必要になってくる。近隣市とのまとまりの中で、どのような施策が考えられるのか。同じようなことをやっている都市同士が連携する場があり得るのか。

狙いについて、社会増を狙う事は難しく、また、社会増を近隣市で取り合うことは難しい。自然増を狙う方が良いのでは。

( 事務局 )

人口ビジョンについては、総合戦略をもって変えていくということは、その通りである。県の希望出生率1.42、全国は1.78であり、どのように人口を増やしていくのか、また出生率の希望と現実をどのように埋めていくのかといったことで、将来推計人口を見直して作っていききたいと思う。

座間市は東京圏に入る。

財源であるが、国の新型交付金は1000億円であり、具体的にはまだ出ていないため、本市においても予算編成をしていく中で構成していく形になるだろう。一番は、普通交付税になる。事業ごとにくるのか、たぶん事業ごとに具体的な計画を出して、国で審査して採択されると思うが、まだ不明である。

連携の関係、現時点でも平成27年度は綾瀬市、海老名市、大和市、厚木市との連携の下で、健康寿命、未病対策を行っている。県で実施している施策について連携してやっというところである。その他に観光や環境、災害についてもそういった場を設けて検討している。

社会増は難しいのではないか、ということであるが、その通りである。人口の取り合いは考えていない。暮らしやすいまちづくりの中で、長く住みたい、座間市に住んでみたいという方が増えてくれば良いと考える。現在、総合計画の見直しを行っており、その中でシティプロモーションという市の魅力を高めて市に愛着を持ってもらう取り組みを考えている。住み続けたい、子育てしやすい環境を整えていきたいと考えている。

( 委員 )

住みよいまちとなるため、次回で良いが、座間市の都市計画の骨子がわかれば、ご報告いただければ、地方創生にどのように関わっていくのか確認したい。

( 委員 )

人口の規模や構成は、今後の施策を考えていく上で決め手になるファクターである。座間市内の地域別について、24ページに出てはいるが、人口の特徴がよく分からない。地域間で偏りがあるのではないか。神奈川県においても、県全体としてはまだ人口が増えており、県央の中でも小田急沿線が伸びているが、愛甲郡の方では既に減少している所もある。地域の特性や偏りを施策の単位で考えた時はどうなのか、現時点での考え方や持っているデータなどがあれば教えていただきたい。

人口流出についてのアンケート、背景を聞くというのはいへん重要である。ただアンケートの期間が7月～9月の3か月間では短いのではないか。理由の偏りがあると分析を誤ってしまうのではないか。おそらくこのような趣旨のアンケートは以前からやっていると思う。傾向を調べる上でも、住民の転出入の方向性などの推移をとっているのではないか。そういった経過を見た方が、より正確に分析できるのではないかと思う。

県央地域の場合、昼夜間人口は隣接圏に集まっている傾向があり、バランスが求められる。

( 事務局 )

地域別地区別(24・25ページ)については、事務局でデータを持ち合わせているので、今後それを24・25ページと合わせて厚くし、次回以降に示したい。

アンケートについて期間が短いのではないかということであるが、今後この転出転入アンケートについては、継続的に実施していきたいと思っている。今回は9月までと期間を区切らせてもらったが、転入転出の多い3月、4月については、今後、進捗管理の中で報告していきたい。

地域別については、人口推移、また高齢者、三区分別はどうか、将来にわたった地区別の人口推計をやっている。その中で見えてきている課題もある。実際のところ「入谷」という地区、座間市で人口が一番多い所で一番高齢化が進んでいる。また、駅に近いところなのに山坂が多い。そういった所ではどういった施策が必要なのか、そういった所を今やっている。このような地域特性に合った総合戦略について検討していきたい。

アンケートについて、3月、4月は特異な動きをするので、その時のデータが無いと分析

できないのではという点については、今まで住民の意識調査を行っているので、そういったものを参考にしたい。またアンケートは継続的に2年3年行っていくつもりなので、その中で新たなものが見えてきたらまた組み直していきたい。

( 委員 )

公共施設の再編などコンパクト化を考えていく必要があるので、地区内の人口の動態を押さえる必要がある。

( 委員 )

骨子案は良い。魅力があるような気がする。「郷土愛」というのがひとつのキーワードになってくるのではないか。私のように住んでもいない、働いてもない者からすると魅力があるように思う。帰りにひまわり祭りにも寄って行きたい。郷土愛についても、地域に対する正確な情報と具体的な行動によって培われるものだと思う。そういう機会を作っていくと良いのではないか。

人口ビジョン7ページによると、意外と若者が住んでいる。大学生が下宿しているのではないかとすることがあり、これは意外とチャンスではないか。東海大なのか相模原、横浜の大学なのか分からない。確かに座間市に大学は無いが、大学生が交流する場、市内への定住や就職へ繋げていくと、大学を誘致しなくても、そこに住んだ学生が郷土愛、噂を広げていくという事ができるのではないか。

人口減少は難しい。私に関わっている神奈川県相模原市緑区にある限界集落の「青根」という集落も、月2、3回くらい大学生が訪れて、休耕田や生物多様性の調査している。人口増だけではなくて、交流人口を増やす、交流頻度を増やすことによって、座間市を多くの人に知ってもらおうという形はあり得るのではないかと個人的には思う。この会議では、よそ者である私に座間の文化や人、歴史など教えてもらいたい。

( 事務局 )

人口データをみると、大学入学と同時に転入し、卒業すると地方に帰っていくと想定される。というのも、群馬県などをみるとまるっきり逆の動きをしている。座間市だけでなく神奈川県全体がそのような傾向である。その時に座間市にいかにも魅力を感じてもらえるか、総合計画のシティプロモーションは、非常に大切な施策である。総合戦略の施策に入れていきたい。

交流人口、その場にいる方の意見は本当に大事である。そういった意見を踏まえた施策にしていきたい。

( 委員 )

京都が典型である。4年制大学があり、あれだけ多くの学生がいるのに、留ませる方法

が必要である。

会議で検討する取り組みは20～30年先に結果が出ると思うが、これからの世代である学生や子育て世帯の女性の切実な意見を聞く場がないと、本当の意見というのは出てこないのではないか。私たちが考えつかない事、女性にしても、違う事がネックになっているかもしれないし、そういう対象の方々を入れて意見を頂く事が良いような気がする。

( 事務局 )

おっしゃる通りである。本市でもそういった意見を少しでも頂きたいと子育て世帯、3カ所の支援センター、公民館でアンケート、また直接ヒアリングしている。247件と数は少ないが、その中でも色々と御意見を頂いている。

高校生のアンケートも行っている。市内2校の3年生を対象に実施し、474件の回答がある。その中で座間高校というのは、90%が市外から来ていて10%が市内在住者となっている。座間市に就職したいか、住みたいかなどを聞いている。そうすると半分以上が、遊び場がない、不便だという意見、住むにはちょっと、という意見が多い。そういったことも含めて、全体の中で魅力を高める。今後とも機会があれば、子育て世代や若い世代の意見を聞いていきたいと思う。

( 委員 )

できるのであれば、次回までにひとつひとつ基本的な方向性の解説があるとよい。議論しやすくなる。シティプロモーションがあっても、方向性の中身的にはわかりづらい。できれば、早めにこれらを解説した資料があれば、次回までに示してもらえれば。

( 事務局 )

用意する。

( 委員長 )

よく読んでもらって提言してほしい。さらに議論が深められるようお願いしたい。

〈 事務局より今後のスケジュールの説明 〉

《 閉会 》